

## 2021 年度 山形 T F C 混成競技記録会 実施要項

※今年度は諸事情により、単独種目を中心に開催する。

1. 主 催 特定非営利活動法人山形 T F C、山形市陸上競技協会
2. 共 催 山形マスタース陸上競技連盟
3. 主 管 山形市陸上競技協会
4. 特別協賛 山形農業協同組合
5. 日 時 2021 年 10 月 16 日(土)・10 月 17 日(日) 9:30 競技開始予定
6. 会 場 ND ソフトスタジアム・サブグラウンド (天童市山王 1-1 ☎023(655)5900)
7. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

【別紙参照】 ・本記録会は、選手・競技役員以外の入場者に制限を設けて行う。  
 ○入場できるのは、チーム関係者(顧問・コーチ・マネージャー・帯同者など)とする。  
 ○申込者の人数の同数までの入場を認める。  
 ○事前に入場者リストを提出すること。リストに名前がない場合は入場を認めない。  
 ただし、事情により予定していた帯同者が来られない場合は、当日変更を認める。  
 ・上記のほか、競技運営に係る対策を山形 T F C ホームページに追って掲載する。

8. 参加資格
  - ・中学 1 年生以上の 2 0 2 1 年度山形陸協登録者でかつ県内在住者。ただし、2 週間以上前から帰県し滞在している者は、県内在住者とみなす。
  - ・参加申込は、①か②のどちらかとする。
  - ・①トラック競技：同日 2 種目のエントリーを認める。
  - ・②フィールド競技：同日 1 種目のみのエントリーとする。
  - ・※本記録会は同日のトラックとフィールドの 2 種目エントリーは認めない。
  - ・マスタース種目は 2 種目可とする(山形マスタース連盟登録者に限る)。

### 9. 種 目

【混成競技】 ※それぞれ定員 16 名程度

種目	カテゴリー	競技内容	競技日
① 中学男子四種競技	中学生男子	110mH・砲丸投・走高跳・400m	17 日
② 中学女子四種競技	中学生女子	100mH・走高跳・砲丸投・200m	17 日

※使用器具、競技方法などは以下の通りとする。

	ハードル 距離	スタート ～1 台目	ハードル 高さ	ハードル インターバル	砲丸 重量
中学男子	110m	13.72m	91.4cm	9.14m	4.00kg
中学女子	100m	13.00m	76.2cm	8.00m	2.72kg

【トラック競技】 ※人数制限を設けないが、競技日程上、運営が困難な場合は、各種目の申込を打ち切る場合があります。その場合は、先着順となります。

競技日	カテゴリー	競技内容
16 日	男子	300m、400m、800m、中学 110mH、高校・一般 110mH、400mH
	女子	300m、400m、800m、中学 100mH、高校・一般 100mH、400mH
17 日	男子	100m、200m、300mH
	女子	100m、200m、300mH

※ハードル種目の区分(ハードルの高さ/ハードルの間の距離)は、次のとおりとする。

	ハードル 距離	スタート ～1 台目	ハードル 高さ	ハードル インターバル
中学男子	110m	13.72 m	91.4cm	9.14m
高校・一般男子	110m	13.72m	106.7cm	9.14m
中学女子	100m	13.00m	76.2cm	8.00m
高校・一般女子	100m	13.00m	83.8cm	8.50m

300mH ハードルの高さ／ハードル間は、次のとおりとする。  
 男子 300m ハードル (91.4cm /35m) 45m+8 台+10m  
 女子 300m ハードル (76.2cm /35m) 45m+8 台+10m

400mH ハードルの高さ／ハードル間は、次のとおりとする。  
 男子 300m ハードル (91.4cm /35m) 45m+10 台+40m  
 女子 300m ハードル (76.2cm /35m) 45m+10 台+40m

【フィールド競技】 ※人数制限を設けませんが、競技日程上、運営が困難な場合は、各種目の申込を打ち切る場合があります。その場合は、先着順となります。

競技日	カテゴリー	競技内容
16 日	男子	走幅跳・走高跳・棒高跳・やり投/ジャベリックスロー(中学)
	女子	走幅跳・走高跳・やり投/ジャベリックスロー(中学)
17 日	男子	三段跳・砲丸投
	女子	棒高跳・三段跳・砲丸投

※各種目の記録は公認。

※走幅跳・三段跳の試技は 3 回とする。(参加人数によって変更あり)

※やり投げ/ジャベリックスローの試技は 4 回とする(参加人数によって変更あり)。

	砲丸	やり/ジャベリックスロー
中学男子	5.00 kg	300g
中学女子	2.72 kg	300g
高校男子	6.00kg	800g
一般男子	7.26kg	800g
一般高校女子	4.00kg	600g

【マスタース】※マスタース連盟でとりまとめる。(マスタース連盟登録者に限る)

種目	競技内容	競技日
⑥マスタース 60m	60m	17 日
⑦マスタース 100m	100m	
⑧マスタース 1500m	1500m	16 日

#### 10. 参加料等

・四種競技	2, 0 0 0 円
・トラック・フィールド競技	1 種目 1, 0 0 0 円
・マスタース(プログラム代含む)	1 種目 2, 0 0 0 円

※プログラム代(出場者全員購入) 1 人 1 冊 5 0 0 円

#### 11. 申込方法

参加希望者は要項と申込書をダウンロードし、チームごとに①～③のすべての手続きを行なうこと。  
 個人で申し込む場合も同様とする。なお、マスタース種目についての申し込みはマスタース連盟でとりまとめる。

- ① 申込一覧表・個票(中学四種出場者)・入場者リストを下記郵送先まで郵送すること。
- ② 申込一覧表ファイルをメールで下記事務局宛に送付すること。
- ③ 参加料・プログラム代はチームごとにまとめて、指定の口座にチーム名または代表者氏名で振り込むこと。

**【重要】2週間の体調管理チェックシートは当日受付の際に提出すること。**

※参加料等の振込も完了していること。**締切厳守にご協力ください。**

- ・参加料等は口座振込でお願いします。なお、入金された参加料等は原則返金いたしません。
  - ・中学・高校の引率顧問には、審判協力を依頼します。参加申込書の記入欄に希望部署名を記入してください。
  - ・各学校に補助員の割り当てを行います。
  - ・各カテゴリーで順位は付けますが表彰は行いません。
  - ・アスリートビブスは主催者で準備し、受付で配付します。
  - ・雨天決行、雨具・着替え等の対策をして参加してください。
  - ・申込者が多数により、競技運営が困難と判断した場合には、上記記載の定員人数や目安の人数を元に、参加を制限または他種目への変更をお願いする場合があります。
  - ・タイムテーブルは10月4日（月）以降にホームページに掲載します。
  - ・競技中の事故や怪我については、応急処置及び必要に応じて医療機関への連絡・搬送はしますが、それ以上の対応はしかねますのでご了承ください。
  - ・大会出場中の写真・記事・記録等の、テレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権は主催者に属します。
  - ・16日はサブグラウンド、17日は競技場バックストレートでW-upが行えます。
- （ただし、周回競技中を除く）
- ・テントを設営する場合は、競技場周辺の芝地をご利用ください。競技場内の陣地設営は出来ません。
  - ・競技場内は観戦エリアを限定して開放します。
  - ・傷害保険等は、申込者の責任で加入してください。
  - ・競技会実施が困難な状況が発生した場合には、中止の場合もあります。

NPO法人山形TFC事務局  
〒990-2446 山形市白山1-5-17-2 (2-A)  
Tel : 080(6036)2387 (芦野) 070(2016)7689 (事務局長 富樫)  
Mail : info\_tfc@yamagata-tfc.org

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に関して参加者をお願いする事項

(1) 競技会当日に以下の体調等に関する確認書類（体調管理チェックシート）を提出すること。

- ① 連絡先（感染者が発生した場合に必要）
  - ② 当日の体温及び過去2週間の体調（発熱・咳・咽頭痛などの症状の有無）
  - ③ 過去14日以内に同居家族や身近な知人に感染が疑われる者の有無
  - ④ 過去14日以内に入国制限の国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無
- 以上の②から④の事項に該当する場合は参加できません。

(2) 競技会全体での感染防止策

- ① マスクを常時着用すること。ただし、運動中(任意)、周囲に人がいない場合及び熱中症防止等やむを得ない場合を除く。
- ② こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ③ 密閉、密接、密集の三密を避け、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ④ 競技会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑤ ゴミは各自で責任をもって持ち帰ること。
- ⑥ 感染防止のために主催者が定めた処置を守り、指示に従うこと。
- ⑦ 競技会終了2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、山形TFC事務局まで速やかに報告すること。（mail : info\_tfc@yamagata-tfc.org・事務局携帯 : 080-1600-1305）
- ⑧ 競技会前後のミーティング等を簡潔にし、その際においても三密を避けること。

(3) 競技中やウオーミングアップ時

- ① 汗拭きタオル等の共用はしないこと。
- ② 水やスポーツドリンク等の回し飲みをしないこと。
- ③ 飲みきれなかったスポーツドリンク等は各自で持ち帰ること。
- ④ ウオーミングアップは三密を避け個別に行うこと。
- ⑤ 競技中やウオーミングアップ時において、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- ⑥ 競技の待機場所等では会話を控えること。
- ⑦ 競技の前後に石鹸で手洗い又は手指消毒をすること。